



共生を支えるコミュニティマネージャー養成プログラム

受講生募集要項

2026年度

北海道大学教育イノベーション機構教育開発センターリカレント教育ユニット
e-mail : rec_office@ml.hokudai.ac.jp

あなたの可能性を広げることを北海道大学が応援します

令和8年度大学と民間企業等との連携による公益的事業の推進補助金
札幌市の劇団他と連携した「共生を支えるコミュニティマネージャー」養成事業

目次

1. プログラムの募集について

- 1.1 共生を支えるコミュニティマネージャー養成プログラム(ささプロ)概要
- 1.2 ささマネ(共生を支えるコミュニティマネージャー)が求められる背景
- 1.3 受講条件と求める人物像
- 1.4 開講期間
- 1.5 受講料
- 1.6 修了要件と修了証
- 1.7 定員
- 1.8 受講申込の方法
- 1.9 応募面談
- 1.10 選考結果の発表
- 1.11 選考結果発表後の手続き
- 1.12 調査と研究

2. ささプロのプログラム構成

- 2.1 ささプロのプログラム構成の概要
- 2.2 オンデマンド講義・演劇創作集中演習の修得要件
- 2.3 ささプロで学ぶ内容
- 2.4 オンデマンド講義
- 2.5 演劇創作集中演習
- 2.6 ワークショップ

3. ささプロ連携組織と協力教員

4. オンライン受講説明会

5. 問い合わせ先

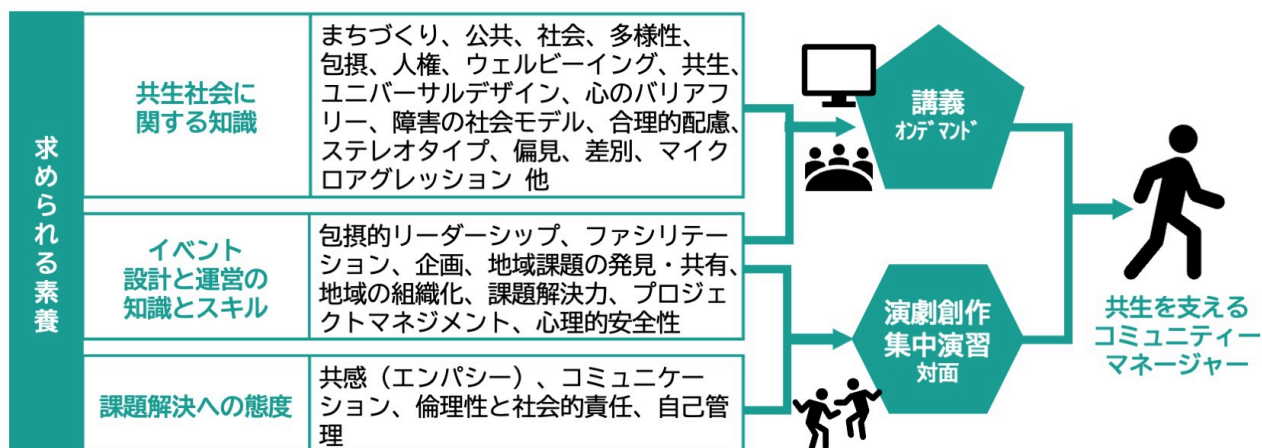
1. プログラムの募集について

1.1 共生を支えるコミュニティマネージャー養成プログラム(ささプロ)概要

共生を支えるコミュニティマネージャー養成プログラム(以下「ささプロ」)は、北海道大学教育イノベーション機構教育開発センターリカレント教育ユニットが提供する、学生と社会人が共に学ぶことができる、北海道大学のリカレント教育プログラムです。

ささプロは、地域やコミュニティにある課題の解決を目指し「共生のまちづくり」の実現を目指すイベントを構想・計画・実施・運営する人材「共生を支えるコミュニティマネージャー」(略称、ささまネ)を養成します。

参加者は、オンデマンド講義(2.4)と演劇創作集中演習(2.5)、ワークショップ(2.6)を通じて、ささまネに求められる、共生社会に関する知識、共生社会実現のためのイベントを実際に構想・計画・実施・運営するための知識・スキル、社会包摂を目的とした課題解決に向かう態度を身につけることができます(2.3)。



1.2 ささまネ(共生を支えるコミュニティマネージャー)が求められる背景

日本では、年齢・性別・障がいの有無・国籍・民族・宗教・文化等の違いを認め尊重し合うことの大切さや、多様性・包摂性といった共生社会の理念は、SDGsの考えと共に、広く共有されつつあります。

一方、世界を見渡せば、多様性や社会包摂の価値が揺らいでいます。日本でも改善すべき多くの課題が残されています。

私たち誰一人とっても、同じ人はいません。そんな私たちはすでに共に暮らしています。日々の暮らしを、すべての人にとって豊かでよりよいもの(well-being)にしていくためには、行政・市民・事業者の連携・連帯が欠かせません。

これが、人びとをつなぎ対話の場を作ることができる人材、共生を支えるコミュニティマネージャー(ささまネ)が必要とされる理由です。

1.3 受講条件と求める人物像

受講条件

ささプロを受講できるのは高等学校または中等教育学校(中高一貫校)を卒業した方です。

オンデマンド講義を受講するためのネットワークや機材を準備できる方。
2日間の演劇創作集中演習に全日程参加することができる方。

求める人物像

ささプロを学びの入り口として、今後、共生を支えるコミュニティマネージャー(ささマネ)として、自分の新しい可能性や価値観を広げたいと考えている方や、受講後、複数のステークホルダーや、異なる価値観を持つ人びとをつなぐ活動を行う意欲のある方を募集します。

公務員や教員、議員候補者、地域おこし協力隊、地域課題の解決に取り組むNPO法人の構成員、医療や福祉関係者、メディア関係者などを想定しています。

1.4 開講期間

2026年10月19日(月)～2027年1月29日(金)

2026年10月25日(日)に、オープニングワークショップを行います。
2027年1月23日(土)・24日(日)に、演劇創作集中演習を行います。

1.5 受講料

ささプロの受講料は以下のとおりです。

社会人	: 29,000円(税込)
学生	: 14,000円(税込)

学生とは大学生、短大生、専門学校の学生を指します。社会人学生は社会人の受講料を適用します。

今年度の受講料は、令和8年度大学と民間企業等との連携による公益的事業の推進補助金札幌市の劇団他と連携した「共生を支えるコミュニティマネージャー」養成事業の助成に基づいて算定しています。

この他、受講にかかる交通費などは自己負担になります。

1.6 修了要件と修了証

ささプロを修了するためには、修了要件を満たすことが必要です。ささプロの修了要件は、オンデマンド講義を開講期間中に全て受講し修得要件を満たすことと、2日間の演劇創作集中演習に全日程参加し修得要件を満たすことの両方です(2.2, 2.3)。

修了要件を満たした方は、共生を支えるコミュニティマネージャー養成プログラムを修了したと認め総長印が押印された「修了証」を授与します。

1.7 定員

社会人	: 15名程度
学生	: 若干名
合計	: 20名

受講申込の際に提出する「講座に向けた想い」や応募面談(1.9)などをもとに選考を行います。

1.8 受講申込の方法

受講生の募集を、下記のとおり行います。

申込の受付期間

2026年8月17日(月)～2026年9月16日(水)〈正午〆切〉

申込の方法

上記の申込受付期間中にリカレント教育ユニットのウェブサイトから所定のフォームに入力して送信してください。記入されたメールアドレスに受付番号を返信します。このメールをもって申込書類を受け取ったことの確認とします。返信メールが届かないときは、リカレント教育ユニットの事務室までメールにてお問い合わせください。

1.9 応募面談

申込後、グーグルミートを用いてオンラインで簡単な面談を行います。
おひとり15分程度です、「講座に向けた想い」や受講後の活動についてお聞きします。
面談候補日は応募フォームに記載されています。

1.10 選考結果の発表

選考の結果は9月25日(金)に、受講申込の際に登録したメールアドレスにお知らせします。

1.11 選考結果発表後の手続き

受講が決定された方へ、オンライン決済システムの支払い用URLをメールでご案内します。
受講が決定された方へ、オンデマンド講義視聴の方法をご案内します。

1.12 調査と研究

ささプロの受講生の皆さんから得たインタビューや資料は、個人情報に配慮した上で、プログラムの改良や社会教育に関連する研究および研究発表に用います。ご協力をお願いいたします。

2. ささプロのプログラム構成

2.1 ささプロのプログラム構成の概要

共生を支えるコミュニティマネージャー養成プログラム(ささプロ)は、北海道大学教育イノベーション機構教育開発センターリカレント教育ユニットが提供する、学生と社会人が共に学ぶことができる、北海道大学のリカレント教育プログラムです。

ささプロは、共生社会についての知識や、イベント設計と運営のスキル、演劇創作について学ぶ「オンデマンド講義」(2.4)、実際に演劇創作を通じて、課題解決への態度を涵養する「演劇創作集中演習」(2.5)、そして対面で講師と対話したり参加者同士で情報共有を行う「ワークショップ」(2.6)で構成されています。オンデマンド講義と演劇創作集中演習は、ささプロを修了するための必修科目(1.6)です。ワークショップは選択科目になります。

プログラムの種類	区分	特徴	方法
オンデマンド講義	必修科目	30～40分ほどの講義動画をオンラインで視聴して受講します。共生社会についての知識、イベント設計と運営のスキル、演劇創作について学びます。	オンライン
演劇創作集中演習	必修科目	演劇の専門家の協力のもと、2日間の演劇創作集中演習を行います。受講者はグループに分かれて2日間で15分ほどの演劇作品を創作します。他者と協働するためのコミュニケーションや、リーダーシップ、チャレンジすることの重要性を体験的に学びます。	対面
ワークショップ	選択科目	共生社会に関する専門家と対話し、参加者同士で情報共有を行います。参加者同士のネットワーキングも兼ねます。	対面

対面のワークショップや集中演習は、北海道大学札幌キャンパスおよび札幌の会場で行います。

2.2 オンデマンド講義・演劇創作集中演習の修得要件

必修科目のオンデマンド講義と演劇創作集中演習の修得要件は以下の通りです。

プログラムの種類	修得要件
オンデマンド講義	1 受講期間内に20講義(30～40分程度)全ての講義を受講 2 各講義後の小テストで80%以上の成績を収める
演劇創作集中演習	1 2日間の演習に全日程参加 2 グループワークへの貢献 3 演習後のインタビューへの回答

2.3 ささプロで学ぶ内容

ささプロでは、共生を支えるコミュニティマネージャー(ささまネ)に必要なとされる能力群として以下を想定しています。ささプロの受講者は、オンデマンド講義、演劇創作集中演習、ワークショップを通じて、これらを学びます。

ささまネに必要な能力	目的	具体的な学習内容
共生社会の知識	共生社会の実現を構想するために必要な共生社会に関連する基本的な概念の意味を知り、その知識を対話の場やイベントと関連づけて使用することができるようになる。	・まち、コミュニティ、公共、社会、コミュニティ ・まちづくり、地方創生、SDGs ・人権、ウェルビーイング ・共生、多様性、社会的排除と社会的包摂、障害について ・障害の社会モデル、ユニバーサルデザイン、心のバリアフリー、ステレオタイプ、偏見、差別、シンパシーとエンパシー ・マイクロアグレッション、アンコンシャスバイアス ・近代社会と能力主義 ・大学の役割 ・民族と共生
イベント設計と運営の知識とスキル	共生社会の実現を目的とした、対話の場やイベントを	・プロジェクトやマネジメント一般についての知識 ・スケジュール管理のための知識やスキル

	構想・計画・実施・運営するために必要な知識やスキルを知り、その知識やスキルを実際に使うことができるようになる。	・メンバーとの情報共有のための知識やスキル ・イベント初期計画のための知識やスキル ・イベント予算に関する知識やスキル ・イベント広報を行うための知識やスキル ・イベント当日の現場を管理するための知識やスキル ・イベントの振り返りや総括を行うための知識やスキル ・ファシリテーションの知識とスキル ・心理的安全性の知識
課題解決への態度	他の人と協働して社会課題の解決に主体的に取り組むために必要な、スキルや態度を身につける。	・自己管理 ・チャレンジ精神 ・好奇心と探究心 ・フォローアップとリーダーシップ ・協働のためのコミュニケーション、エンパシー ・倫理性と社会的責任

2.4 オンデマンド講義

オンデマンド講義は、まちづくりや共生社会について学ぶ講義群1、プロジェクトマネジメントに必要な知識を学ぶ講義群2、演劇創作に関する内容を学ぶ講義群3で構成されています。それぞれの講義動画は30～40分です。

オンデマンド講義の内容の修得は、修了のための必要条件です(1.6)。

講義後の小テストで講義内容の修得を判定します(2.2)。オンデマンド講義は、オンラインでいつでも視聴することができます。

オンデマンド講義の構成は3つの講義群で構成されています。

講義群1	「まちづくり」や「共生社会」について知ろう
講義群2	プロジェクトマネジメントの基本的な知識を学ぼう
講義群3	演劇を創作する学び

講義	タイトル	講師
講義1-1	「まちづくり」について考える その1	種村 剛(北海道大学教育イノベーション機構教育推進研究部特任教授)
講義1-2	「まちづくり」について考える その2	同上
講義1-3	「共生社会」とはどのような社会なのだろうか	同上
講義1-4	できないことをなくしていくまちづくりについて考える	同上
講義1-5	ステレオタイプ、偏見、差別について考える	同上
講義1-6	互いに支え合うためにはどうしたらよいか考える	同上
講義1-7	能力主義と「できる」ことについて考える	同上
講義1-8	大学と地域について考える: 地域を支える大学、大学を支える地域	鄭 漢模(北海道大学教育イノベーション機構教育推進研究部講師)
講義1-9	多民族共生へ向けて: 先住民知としてのカムイとイオル	加藤博文(北海道大学アイヌ・先住民研究センター教授)
講義2-1	プロジェクトマネージャーの仕事	種村 剛(北海道大学教育イノベーション機構教育推進研究部特任教授)
講義2-2	目的の設計について考える	同上
講義2-3	「地域課題」について考える	同上
講義2-4	課題を共有するためのファシリテーション	同上
講義2-5	イベントを計画する その1初期計画	同上
講義2-6	イベントを計画する その2人と予算	同上
講義2-7	イベントを計画する その3スケジュール管理	同上
講義2-8	イベントを計画する その4広報	同上
講義2-9	イベント当日の運営	同上
講義2-10	イベントを振り返る	同上
講義3-1	演劇と演劇教育について考える	同上
講義3-2	課題解決学習としての演劇創作	同上
講義3-3	心理的安全性について考える	佐久間泉真(弦巻楽団・上級ハラスメントマネージャー)

2.5 演劇創作集中演習

演劇創作集中演習は、PBL(Project Based Learning; 課題解決型学習)の一種です。2日間でグループで演劇創作・上演を行う「課題」に取り組むことで、他の人と協働して社会課題の解決に主体的に取り組むために必要な、スキルや態度を身につけます。

演劇創作集中演習への参加は、修了のための必要条件です(1.6)。

2日間の参加、グループワークへの貢献、事後インタビューで演劇創作集中演習の修得を判定します(2.2)。

演劇創作集中演習では、北海道演劇財団および劇団弦巻楽団に所属する役者がファシリテーターにつき、演劇の創作をサポートします。

演劇創作集中演習

2027年1月23日(土)・24日(日)の2日間、合計14時間

実施形式:対面

会場:扇谷記念スタジオ・シアターZoo(札幌市中央区南11条西1丁目3-17)

内容:15分ほどの演劇の創作、上演

講師:北海道演劇財団および劇団弦巻楽団に所属する役者がファシリテーターにつき、演劇の創作をサポート

2.6 ワークショップ

北海道大学の教員や、学外の有識者を招いてワークショップを行います。ワークショップは対面で実施します。

ワークショップでは、講義とはまた異なるスタイルで、ざっくばらんにゲストと対話することを通じて学習内容を深めます。併せて、参加者同士のネットワーキングを行います。

ワークショップは修了のための必修ではありません。しかし、参加を強く推奨します。

①レゴ®シリアスプレイ®メソッドと教材を用いたオープニングワークショップ ～学びの目標をつくる～

川本思心(北海道大学大学院理学研究院 准教授、リカレント教育ユニットユニット長)他

実施日:2026年10月25日(日)13:00～17:00

実施形式:対面

会場:北海道大学札幌キャンパス 学術交流会館第4会議室

②「公共・政策」を考える

武藤俊雄(北海道大学公共政策大学院 准教授、ささプロ協力教員)

実施日:2026年11月21日(土)15:00～17:00

実施形式:対面

会場:北海道大学札幌キャンパス 学術交流会館第4会議室

③ユニバーサルデザインなあそびをつくろう

明田川知美(北海道武蔵女子大学 専任講師、ささプロ協力教員)

実施日:2026年12月19日(土)15:00～17:00

実施形式:対面

会場:北海道大学札幌キャンパス 学術交流会館第4会議室

3. ささプロ連携組織と協力教員

ささプロは、北海道大学教育イノベーション機構リカレント教育ユニットの他に、様々な組織や個人の協力のもとに成り立っています(50音順)。

・リカレント教育ユニット

川本 思心(北海道大学理学研究院 准教授／リカレント教育ユニットユニット長)

沢 則行(北海道大学教育イノベーション機構教育推進研究部 客員教授)

鄭 漢模(北海道大学教育イノベーション機構教育推進研究部 講師)

種村 剛(北海道大学教育イノベーション機構教育推進研究部 特任教授)

・連携組織

一般社団法人 アートブリッジコミュニティ

一般社団法人 劇団弦巻楽団

公益財団法人 北海道演劇財団

札幌市まちづくり政策局政策企画部ユニバーサル推進室

北海道大学サステナビリティ推進機構SDGs事業推進部門

・協力教員

明田川知美(北海道武蔵女子大学 専任講師)

加藤博文(北海道大学アイヌ・先住民研究センター 教授)

武藤俊雄(北海道大学公共政策大学院 准教授)

・ラーニングファシリテーター

佐久間泉真(弦巻楽団)

4. オンライン受講説明会

ささプロの開講に併せて、オンラインでささプロの説明会を開催します。

日時:2026年8月19日(水)19:00～20:00終了予定

実施方法:オンライン

リカレント教育プログラムのウェブサイト(<https://reh.grad.hokudai.ac.jp/>)および、ささプロの募集サイト(<https://reh.grad.hokudai.ac.jp/reh/sasapro/>)で公開のURLより、受講説明会の詳細をお知らせします。

オンライン受講説明会の様子は録画し、オンデマンドの受講説明を配信します

受講説明会への参加および説明動画視聴は、ささプロ応募の必要条件ではありませんが、プログラムの内容を知るためにご活用ください。

5. 問い合わせ先

住所 〒060-0817 北海道札幌市北区北17条西8丁目 北海道大学総合教育棟

電話 011-706-5252(種村)

e-mail: rec_office@ml.hokudai.ac.jp